



イヌマキの害虫大量発生に注意

県内では、害虫「キオビエダシヤク」によるイヌマキ（ヒトツバ）が枯死する被害区域が拡大しています。

キオビエダシヤクは、ヒトツバやナギの葉を食べる害虫です。幼虫はヒトツバの葉が無くなるまで食べ尽くすこともあり
ます。

○幼虫（写真右）

体長は約5センチで、オレンジ色、黒色（灰色）および黄色の模様をしたシャクトリムシです。

○成虫（写真左）

羽を広げた大きさは約6センチで、全体的に紺色、羽には黄色の帯状の模様があるガ（蛾）です。

○被害発生時期 4月～12月

○防除方法

イヌマキを定期的に観察し、幼虫の早期発見と薬剤による防除を行ってください。

少数発生の際は、木をゆすり、落下した幼虫を補殺するか、拾い集めて焼却してください。

大量発生の際は、薬剤を散布してください。（近隣への薬剤飛散に注意）

※薬剤は、近くの農協や園芸用品店、ホームセンターなどの農業取扱店で購入できます。

問い合わせ先
役場耕地林務課林務係
☎(86)1159「直通」

薬剤名	ロックオン（乳剤）	アディオン乳剤	トレボン（乳剤）
希釈倍数	1,000倍	4,000～8,000倍	4,000倍
効果持続期間	約3カ月	約2カ月	約3日
散布適期	発生初期	発生初期	幼虫発生初期

安全なおもちゃ花火の使用法

これから夏になると、おもちゃ花火を使用する機会が増えてきます。子どもたちにとって身近な夏の風物詩のおもちゃ花火は、「おもちゃ」とはいえ原料は火薬有りの危険物です。使用する際は注意書きや使用方法をよく読み、近隣の迷惑にならないよう次のルールを守って遊ばしましょう。



阿久根地区消防組合では、管内の園児を対象に花火の正しい知識や危険について周知するとともに、子どもの火遊びによる火災やけがなどの減少を目的に「おもちゃ花火教室」を毎年行っています。

問い合わせ先
阿久根地区消防組合阿久根消防署
東分遣所
☎(86)0119「直通」
長島分遣所
☎(88)5333「直通」

- ①花火遊びの時間と場所は迷感にならないようにしましょう。
- ②花火をする前にバケツと水を用意しましょう。
- ③花火は必ず燃えるもののない広い場所で遊びましょう。
- ④花火が終わったら花火のごみは必ず持ち帰りましょう。

